

令和2年習志野市議会第2回定例会

(会期：令和2年6月1日～6月23日)

# 一般質問通告表

【確定版】

習志野市議会

## 目 次

発言 順位	質 問 日	質 問 者 (所属会派)	質 問 予定時間	頁
1	6月19日(金)	高 橋 正 明 議員(元気な習志野をつくる会)	80分	1
2		央 重 則 議員(環境みらい)	80分	2
3		佐 野 正 人 議員(民意と歩む会)	80分	3
4		宮 内 一 夫 議員(市民の会)	60分	3
5	6月22日(月)	藤 崎 ち さ こ 議員(新社会の会)	60分	4
6		布 施 孝 一 議員(公明党)	80分	5
7		谷 岡 隆 議員(日本共産党)	80分	6
8		斉 藤 賢 治 議員(真政会)	80分	7
9	6月23日(火)	平 川 博 文 議員(都市政策研究会)	60分	8

○ 高 橋 正 明 議 員

- 1 新型コロナウイルスに伴う高齢者ふれあい元気事業について
  - (1) 補助金交付について
- 2 避難所における新型コロナウイルス対策について
  - (1) 避難所対策の進捗状況について
- 3 新型コロナウイルスにおける市独自の医療体制整備について
  - (1) 医療機関への支援及び本市医師会の検査体制について
- 4 新型コロナウイルスに伴う学校教育について
  - (1) 休校後からの学校教育の現状について

## ○ 央 重 則 議員

### 1 新型コロナウイルス感染症の市の現在の対応について

#### (1) 市民及び中小零細企業への支援について

- ① 市民に対する支援について
- ② 中小零細企業等に対する支援について
- ③ 第2波に対する準備と支援について

#### (2) 福祉関係への支援について

- ① 福祉施設への支援について
- ② 高齢者への支援について
- ③ 第2波に対する準備と支援について

#### (3) 医療関係への支援について

- ① 病院等での医療体制の支援について
- ② 市民等のコロナ検査の実情について
- ③ 第2波に対する準備と支援について

#### (4) 教育関係への支援について

- ① 教育の遅れ及び緊急時による教育体制と支援について
- ② 保育所等や放課後児童会及び放課後子供教室の実態及び支援について
- ③ 第2波に対する準備と支援について

## ○ 佐野正人議員

### 1 新型コロナウイルス感染症について

- (1) 新型コロナウイルス感染症が疑われる場合の救急対応
- (2) 水道料金の減免
- (3) 市長の政治姿勢
  - ① 専決処分について
  - ② 市長の給与について
- (4) 中小企業への支援体制
- (5) 教育の今後の対応
- (6) 医療検査体制

## ○ 宮内一夫議員

### 1 新型コロナウイルス関連について

- (1) 新型コロナウイルス感染症についての市内の状況と市の対応について
- (2) 市民からの意見・要望・実態について、どのように受け止め施策に反映し、行政運営を行っているのか

### 2 入札制度について

○ 藤 崎 ち さ こ 議 員

1 放課後児童会について

(1) 新型コロナウイルス感染症禍の下での運営について

2 小中学校の現状と今後について

(1) 新型コロナウイルス感染症禍の下での休業中の児童・生徒の学習について

(2) 児童・生徒の心と体の健康について

3 民間保育施設の助成事業について

## ○ 布 施 孝 一 議 員

### 1 新型コロナウイルス対策について

(1) 中小企業及び個人事業者、介護事業所等の支援策について

(2) 特別定額給付金について

① 現在までの進捗状況と今後の対応について伺う

(3) 妊婦や子育て家庭の支援策について

① オンラインなどを活用した相談体制について伺う

② 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける妊婦の給付金支援と産後ケアの充実について

③ 高校生のいる世帯に対して市独自の経済支援策について伺う

(4) 災害対策について

① 避難所の3密対策について

(5) 教育行政について

① G I G Aスクール構想に対する本市の取組について伺う

② スクールカウンセラー等による相談事業の現状と対応について伺う

③ 今後の学校行事について伺う

④ 発達障がい等の個別支援を要する児童・生徒への生活及び学習支援について伺う

(6) 企業局の経済支援について

① ガス料金の一律減額について伺う

## ○ 谷 岡 隆 議員

- 1 新型コロナウイルス感染症拡大の第2波への備えについて
  - (1) 給付型の市独自支援策の遅れ、市民・市内事業者への案内の遅れ、臨時議会など民主的な合意形成の欠落など、宮本市長の対応について反省を求める
  - (2) 長期化が予想される中、再度の自粛要請や緊急事態宣言なども想定し、給付型の市独自支援策の継続と拡充を求める
  - (3) 小中学校における授業時間の確保や3密防止のために、公開研究会や学校訪問の中止、オンライン授業の導入など、様々な取組が必要ではないか
- 2 2020年度上半期（9月まで）の習志野市政の課題について
  - (1) 場外舟券売場「ポートピア習志野」の計画浮上から廃止までの16年間について、2004年3月議会で「とにかくもうすぐにでもやってほしい」と要望した当事者として、宮本市長はどのように総括しているのか
  - (2) 第2次公共建築物再生計画のパブリックコメントについて
    - ① 216件の意見を重く受け止め、公共施設統廃合・跡地売却の基本方針を抜本的に見直すことを求める
    - ② 旧庁舎跡地の財源化（売却・貸付け）に反対する市民の意見を旧庁舎跡地活用検討委員会に報告し、検討報告書の作成に反映させることを求める
  - (3) 台風等による大規模災害への備えについて
    - ① 避難所の3密対策として、補助避難所を含む防災訓練（図上訓練）をして備えることを求める
    - ② 昨年崩落した崖地（実籾5丁目）を急傾斜地崩壊対策事業の対象とする検討は進んでいるのか
  - (4) 事故多発機オスプレイの陸上自衛隊習志野演習場への飛来と習志野市上空の通過について、習志野市から国への住民説明会の開催要請はどうなっているのか

## ○ 齊 藤 賢 治 議 員

### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 市の取組の全体像について
- (2) PCR検査導入の経緯と検査の流れについて

### 2 教育問題について

#### (1) 授業再開後における取組について

- ① 感染症対策・熱中症対策等の必要な対策を講じた上での授業、学校行事の取組について

#### (2) 学校ICTを活用した取組について

- ① GIGAスクール構想の取組について
- ② オンライン授業の取組について

### 3 後期基本計画について

- (1) 新型コロナウイルス感染症による計画への影響について
- (2) 計画期間の財政予測への影響について

## ○ 平 川 博 文 議 員

- 1 習志野市長・市議会議員選挙の開票結果に、重大な疑念を抱いてきた。平成19年6月27日。千葉検察審査会（司法機関）から、習志野市の開票作業に当たる公務員の態度や姿勢は明らかにルール違反を犯していると指摘され、強く反省を求められてきた。選挙に対する認識の甘さを猛省し、今後、襟を正した改善を市民に示さなければ、市民の市政に対する不信感は払拭されないとの指摘を受けてきた。さらに、平成18年10月6日のテレビ朝日報道で、ビデオ映像解析の専門家の東京理科大学の半谷教授は、市民に対する重大な裏切り行為があると断定した。このとき、不正開票選挙の実行犯の市役所公務員に対する社会的制裁がなかった。習志野市役所内部で、全てもみ消された。内部調査報告書は、作成されていない。近年の不正開票選挙の手口として、期日前投票箱の鍵をひそかに事前に開けて、投票用紙の差し替えが香川県高松市、宮城県仙台市、滋賀県甲賀市などで連続して発覚し、市役所公務員の総務部長をはじめ、選挙管理委員会事務局長などの逮捕者が出ている。全国的傾向がある。投票箱をひそかに開けて、投票用紙をすり替える。実行者は選挙候補者ではなく市役所公務員。候補者個人の選挙違反と比べてはるかに巧妙、悪質と言える。習志野市の期日前投票箱は、どうなっているのか
- 2 中国湖北省武漢市で表面化した新型肺炎コロナウイルスが、パンデミック（世界的流行）となっている。社会情勢は、差別と偏見が共存している。習志野市の感染者対応を知りたい
- 3 猛暑の熱中症対策として、市内公立小中学校にエアコンを緊急設置してきた。事業費は、22億2,387万3,000円に上る。ところが、緊急対応の工事発注に絡んで、元市議会議長と現市議会副議長が関与する工事業者が利権介入したことが表面化している。市役所公務員の関与なくして、議員利権は、成立しない。エアコン公共事業の発注の全容を知りたい
- 4 89億円規模の新庁舎建設より、地震被害住宅の救済を要求してきた。3・11後の習志野市内の地震被害住宅は、9年目を迎えたのに、放置状態にある。この間、地震液状化対策やブロック塀、門などの助成金を宮本泰介市長に要求してきた。全て拒否回答に終始している。船橋市の藤代孝七市長（当時）は、地震被害当初から被災した市民救済のために、ブロック塀の補修費として船橋市独自の助成金、7億8,341万5,000円の補助をしてきた。1軒当たり、平均21万円になる。50万円までを限度とした。平成30年の大阪北部地震の後、市内の危険度の高いブロック塀が224か所、存在する。費用負担がハードルとなっている。対策を考える必要がある。

被災した旧庁舎の解体工事費と跡地利用計画が注目されている。令和元年12月に船橋市・市川市・浦安市の近年の解体工事費の坪単価の実績調査・報告を求めた。市川市・浦安市は、新庁舎建設と旧庁舎の解体工事は、ゼネコンによる一括工事が行われた。コストを考えたい。宮本泰介市長は、旧庁舎跡地を売却するのか、しないのか。12月以降の検討経過を知りたい。今後、不動産鑑定の前定があるのか否かも確認したい
- 5 宮本泰介習志野市長は、近年、財源確保を名目に、市有地の土地売却を加速させている。令和元年10月23日に芝園2丁目、産業業務街区にある4,242坪の公園を52億300万円で売却した。

当初の売却予定の習志野市の見積額が不適切になっている。何があったのか

- 6 荒木勇前市長と前市長後援会が私物化しているJR津田沼駅南口特定土地区画整理事業について。JR津田沼駅南口都市開発に伴う谷津小学校などの受入れ態勢について、平成25年10月27日、TBS噂の！東京マガジンというTV報道で、宮本泰介市長は、猛省していると釈明してきた。学校施設の土地・建物が異常な不足状態にある。令和6年度における谷津小学校の校庭面積は、市内平均校庭面積の約65.5%しかない。また、谷津・奏の杜地区の小学生が路線バス通学を強いられている。令和元年6月の小熊隆教育長答弁によると、バス通学生徒数は、令和6年で605名を見込んでいる。スクールバスは、いつ運行するのか。新型コロナウイルス感染症が不安視される、新学期の谷津小学校・谷津南小学校の生徒数は、どうなっているのか
- 7 平成23年11月7日、荒木勇前市長の平成9年当時のJR津田沼駅南口26億円の土地取引の件で東京地検特捜部に刑事告発した。時効により、不起訴処分となった。26億の借入金の返済が継続している。指定暴力団関係者から買い取られた3,000坪の土地は、現在、谷津小学校の前の公園用地の半分になってる。最近、この指定暴力団関係者が、町内谷津3丁目に住んでいることが分かった。前市長が株式会社新平和代表取締役社長に、土地売買代金として、9億9,356万8,000円を即金で支払ってきた。習志野市は、どうなっていくのか
- 8 秋津・香澄住民を無視した競艇のボートピア習志野の「営業の縮小と撤退」を求める。いまだにボートピア習志野の財務諸表が市議会に提出されていない。毎年、売上げが減少している。財務諸表から確認しなければならない。累積の売上高、営業利益、純利益の説明を求めてきた。折しも、ボートピア習志野が営業不振で閉鎖される模様だ。誘致した当時の弁護士市長の提案理由の売上高の見込額は、極端な粉飾だった。賭博の営業利権は、どうなるのか。市長の説明を求める
- 9 72億円に上る京成大久保駅前再開発の工事が進行している。京成大久保駅の改造が地域住民から注目されている。宮本市長は、なぜ、20億円の駅舎安全対策費を投ずることができないのか。京成電鉄との協議経過、過去50年の京成大久保駅鉄道死亡事故件数の報告が、なぜ、行われないのか